

フィリピンにおける気候変動対策のためのコミュニティ活動と都市間協力事業(継続3年目)

イベントの延べ参加者数	70人
イベント参加者の満足度	80%
活動の全体目標に対する達成度	90%



UEAにおけるセッション開催の様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

UEA サミットで実施したセッションでは、当初予定していた数以上の自治体の参加を得ることができた(8自治体)。研修や研修用資料への評価は高く、意識の啓発や今後の活動普及に効果的であった。

●工夫

単独ではなく、他の自治体関連国際会議と協力することで、効率的に広範囲な自治体の招集が可能となった。

課題

フィリピンの都市は、気候変動影響による異常気象被害や急速な経済発展による二酸化炭素排出量増加などの課題を抱えており、コミュニティ参加型での適応策、緩和策が必要。

目標

コミュニティの青少年、女性向けに実施した研修活動の成果の報告、マニュアル類の制作と配布を通じて、他の地域での同様の活動を広め、より多くのコミュニティにおける参加型の適応策、緩和策の推進へつなげる。

活動内容

- ・UEA(都市環境憲章)サミット(2015 Urban Environmental Accord Iloilo Summit)への参加と、特別セッションの開催及び事業評価・意見交換会議の開催。
- ・女性向け冊子(ガイドブック)の制作(専門家レビュー、編集・レイアウト制作、印刷)、配布。青少年向けマニュアルの増刷、配布。



コミュニティ向けマニュアルの完成を報告

達成できなかったこと

女性向けマニュアルも、青少年向けマニュアルと同時に UEA サミットでの配布を狙ったが、第3者レビューを改めて実施する必要性があったために、制作はサミット後となった。

今後の展望

イクレイ東南アジア事務局の主導で制作したマニュアル類を配布する等し、他地域における同様の活動を促す。